

## 文化庁移転協議会幹事会（第6回）議事要旨

日時：令和元年9月20日(金)10:00～10:30  
場所：旧文部省庁舎2階文化庁特別会議室  
文化庁地域文化創生本部3階会議室

### 出席者

中岡文化庁次長，多田内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局地方創生総括官補，高橋内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局次長，塩崎文部科学省大臣官房政策課長，高橋文化庁政策課長，古木内閣官房参事官主査，田中京都府文化スポーツ部副部长，山川京都市総合企画局文化庁移転推進室長，森内閣官房内閣人事局内閣参事官補佐（オブザーバー），関口財務省主計局主計官（オブザーバー），川路財務省理財局国有財産有効活用室長（オブザーバー），奥田総務省行政管理局行政情報システム企画課長・内閣官房IT総合戦略室参事官（オブザーバー）

### 議事

議題に入る前に，文化庁（高橋政策課長）から，文化庁移転協議会の設置について改正箇所の説明があった。

#### （1）京都移転シミュレーション実施計画(案)について

高橋文化庁政策課長から，「京都移転シミュレーション実施計画（案）」に関する説明を行った。

#### （2）その他（省庁間 Web 会議の実施）

高橋内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局次長から，「省庁間 Web 会議の実施について」に関する説明があった。

（質疑応答等）

文化庁：政党の会議などに TV 会議システムを持ち込んで，遠隔地からの会議傍聴のテストなどを行っている。政党や議員関係とのテレビ会議の仕組みなど将来的にどのようにお考えか。  
総務省・内閣官房 IT 室：現在、内閣官房と接続テストを行っているところであるが、各省のセキュリティレベルの違いなのか、設定の問題なのか検証をすすめているところ。政党や議員関係はネットワークが政府機関とは別であるが、相談などは来ている。今後の連携については検討していく必要がある。

京都市：日頃より地域文化創生本部の TV 会議システムを活用して、文化庁と協議等させていただいているところであるが、シミュレーション期間中は本日のように使えなくなるのか。

文化庁：常時接続は、別の端末で行うため、外部機関との連絡に使用できる、今の使用中のシステムは引き続き使用可能である。

まち・ひと・しごと創生本部事務局：京都側の執務環境はどのようになるのか。

文化庁：各自の端末を持って行くことで業務が行えるようになっている。

まち・ひと・しごと創生本部事務局：中央省庁の全面的移転はこれまでに例のないものである。

政府全体として、確実に進めて行く必要がある。我々自身も移転に向けて努力するとともに、オブザーバーの方々を含め御出席の関係機関にもしっかりと御協力いただきたい。

まち・ひと・しごと創生本部事務局：国会関係業務は相手のあることなので、先方とよく話し合っ  
て丁寧に進めることが移転の成功に繋がる。

## その他

- 中岡次長から、幹事会で了解された「京都移転シミュレーション実施計画について」及び「移転協議会の設置について」に関して、文化庁移転協議会における協議は紙面協議をもって代える旨の説明があり、意義はなかった（その後紙面協議において修正はなかった。）
  
- 多田総括官補から、まち・ひと・しごと創生本部事務局としても京都移転シミュレーション実施計画の着実な実施とともに、関係府省庁、京都府、京都市へ、他省庁との業務や国会関係の業務等を円滑に実施するための通信環境の整備、職員の住環境の確保などについて、引き続きの御協力をお願いしたい旨の発言があった。

(以上)